

J R 東海労働組合関西地「申」第3号

2021年7月12日

東海旅客鉄道株式会社  
新幹線鉄道事業本部関西支社  
支社長 畑田 整吾 殿

J R 東海労働組合新幹線関西地方本部  
執行委員長 笹田 伸治

「三菱電機の検査不正問題に伴う車両の安全」に関する緊急申し入れ

マスコミによると「三菱電機による鉄道車両の空調機器における検査不正を35年以上にわたった疑いがあることが判明した。また、電動空気圧縮機についても同様の不正検査が行われていた」と報道された。

会社は6月30日、三菱電機製の空調機器を新幹線では3100台導入し、そのうち実際に検査不正があった割合は不明で、三菱電機からの報告を待っているとマスコミ等に明らかにした。

しかし、このことは現場で実際、保守・点検している社員にはまったく明らかにされておらず、現場管理者に聞いても「知らない」とのことであった。

また、7月6日の業務委員会の前段でこのことを関西支社の業務委員に質問しても「わからない」とのことであった。

これらのことは「安全第一」を掲げる JR 東海にとって看過できない事態と組合は考える。よって、下記の通り申し入れるので、早急に団体交渉の場を設定すること。

記

1. 今回、問題とされる三菱電機の検査不正に関する経緯を明らかにすること。
2. なぜ、現場社員に今回の事態があったことを報告しないのか明らかにすること。また、安全を脅かす事象についての周知体制はどうなっているのか明らかにすること。
3. 三菱電機製の検査不正された空調機器及び電動空気圧縮機が今現在、新幹線車両に何台搭載されているか明らかにすること。
4. 新幹線車両機器の検査不正について、三菱電機から説明された内容を明らかにすること。
5. 今回の検査不正について安全性が確認されたのか明らかにすること。

6. 安全性が確認されないまま使用しているなら、使用できる根拠を明らかにすること。

7. 今後の調査、修繕、対策はどうするのか明らかにすること。

以上